

平成 20 年 4 月 2 日

武庫川流域委員会
委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会
委員 伊藤益義

武庫川渓谷の貴重種の保護について

先日、添付のように武庫川渓谷の貴重種に危機がありました。幸い直前に自然環境団体メンバーの通告で危機は回避できました。行政には今後の対策を要望しましたが、行政側に詳細なデータがなく、十分な対応ができないことも判明しました。

ダム問題でこれまで論議してきたことが、端から崩されていくことは残念でなりません。今後このようなことが再発しないように、河川部局で保有されている環境情報を環境部局、関係市とも共有する等の対応策をお願いいたします。

以上

宝塚市長 阪上善秀様

平成 20 年 3 月 19 日

写) 宝塚市環境部長様
宝塚市建設部長様
環境都市宝塚推進市民会議
委員長 足立 勲様

エコグループ・武庫川
代表 伊藤益義

土木工事等の自然環境配慮について

去る 3 月 10 日ハイカーからの [REDACTED] で「貴重種が工事で危ない」との連絡により、同 11 日現地調査 [REDACTED] をいたしました。「兵庫県版レッドデータブック 2003」A ランクの「ヒメウラジロ」の群生地付近でガードレール設置工事が行われており、現場の工事担当者に確認したところ、「貴重種のあることを知らなかった」とのことでした。ヒメウラジロの群生地は既に草や灌木が伐採されており、幸いにも背の低い「ヒメウラジロ」は残っておりました。ただ生息環境が変わることの懸念は残っております。今回はハイカーからの連絡で道路保全課と県宝塚土木事務所とが現場確認をして工事業者に保護の指示をされておりました。 本日工事ストップ

また [REDACTED] にあった「ヨコグラノキ」(同 B ランク) 3 本のうち 2 本が伐採されておりました。

このように貴重種についての十分な配慮がされないまま、工事が実施され宝塚市の貴重な財産が失われ(ようとし)ています。工事の実施に当たってはレッドデータブック等の活用等により事前に環境部局のチェックを受けて自然環境に対する十分な配慮を行うようなシステムを作られて、貴重種を保護されるようお願いいたします。

特に武庫川溪谷は貴重種を中心に県河川部局で詳細な調査が行われておりますので、調査データを活用されますよう提案いたします。

以上

エコグループ・武庫川
[REDACTED] 伊藤方

[REDACTED]